

2024（令和6）年度

京都大学大学院教育学研究科
（研究者養成プログラム）
入学試験問題

※出願者のなかったコース（分野）に対応する専門科目は、筆記試験が実施されなかったため掲載していません。また、選択されなかった外国語科目についても掲載していません。

※修士課程（研究者養成プログラム）外国人留学生特別選抜入学試験は学生募集要項を別に定めているため、入学試験問題は別途あります。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科
(研究者養成プログラム)

入学試験問題

外国語

英	語
---	---

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英 語

I. 次の英文を日本語に全訳しなさい (50点)。

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、John D. Bransford, Ann L. Brown, and Rodney R. Cocking, eds., How People Learn: Brain, Mind, Experience, and School, Expanded Edition, National Academy Press, 2000 の 112 頁 2 行目～16 行目を引用した。

Ⅱ. 次の文章の下線部をすべて和訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Arturo Escobar, *Designs for the Pluriverse: Radical Interdependence, Autonomy, and the Making of Worlds*, Duke University Press, 2018, pp. の110頁17行目～111頁12行目を引用した。なお、下線部は、110頁24行目「Digital technologies」から始まり111頁2行目「we consider them」までの文を指す。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科
(研究者養成プログラム)

入学試験問題

外国語

フランス語

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

フランス語

1. 次の仏文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Bruno Garnier, *L'Égarité en éducation*, Éditions Ophrys, Paris, 2012 の24頁16行目～24頁26行目を引用した。

フランス語

II. 次の仏文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Georges-Louis Baron, “Les technologies dans l’enseignement scolaire: regard rétrospectif et perspectives”, Les Sciences de l’éducation - Pour l’Ère nouvelle, vol. 52, n° 1, 2019 の 105 頁 1 行目～105 頁 14 行目を引用した。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

①教育哲学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

①教育哲学

次の3つの問題から2つを選び、解答しなさい。(50点×2)

I. 宗教的・超越的体験がもつ人間形成的な意味/無意味について、論じなさい。

II. 子どもが他者(友人、家族、教師など自由に想定してよい)を信頼できないとき、教育はどのような働きかけをすることが求められるか、論じなさい。

III. 有用性はしばしば、「それは何の役に立つのか」という論理でしか事物や事象が捉えられなくなるとして、否定的に捉えられることがある。しかし有用性をまったく顧みない教育を考えることもまた困難である。教育は有用性とどのように向き合うことが求められるか、論じなさい。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

②教育史学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

②教育史学

問題Ⅰ

資料1は、教育史学分野の要領について概要的に述べた文章である。これを読んで、下記の問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、必ず小問の番号を最初に記すこと。(60点)

- (1) 傍線部①～⑩のそれぞれの読み方(送り仮名を含めて)を平仮名で記しなさい。(20点)
- (2) 著者が触れる「才」「学」「識」「記憶」の意味と相互関係について、具体的に解説しなさい。(10点)
- (3) 著者の「教育史学」観について説明しなさい。(20点)
- (4) 著者の見解の妥当性についての解釈を含めて、あなた自身の「教育史学」観を記しなさい。(10点)

問題Ⅱ

次の①～⑩の事項の中から4つを選び、それぞれについて説明しなさい。なお解答にあたって、選択した事項の番号を必ず最初に記すこと。(40点)

- | | |
|------------|------------|
| ① 専門学校令 | ② 善書 |
| ③ 教育基本法 | ④ 目安往来 |
| ⑤ 旧制高等学校 | ⑥ 生活綴方運動 |
| ⑦ 朝鮮教育令 | ⑧ 松下村塾 |
| ⑨ 専修学校(戦前) | ⑩ 専修学校(戦後) |

資料 1

日本教育史を講述するに當り、先づ此を攻究するの心得を論ずるの必要あり。凡そ學問の高下は當初志を立つるの如何によりて定まる。千里の行も足下に始まるに非ずや、始ある者、必ずしも終あることなしと雖も、未だその始を克くせずして安んぞその終局の美を望む可んや。學を爲すは須らくその當初の見地をして、高くかつ確然たらしむべし。此の如くにしてはじめて學を爲すの功あるべきなり。當初の見地に於て薄弱ならんか、千卷萬卷を繕了すとも徒らに蠶繭となりて人の顧問となるに過ぎざらんのみ。吾輩諸君と教育史を攻究するの志、これ此の如く低くかつ薄かるべけんや。

教育は活物なり、教育の變遷發達の理法を徒らに書籍の間に究めんとするものは、水練を畠に講じ兵を席上に談ずるの愚に誤らず。抑も學を爲すの要は識見を養成するにあり。教育史を攻究するは、則ち教育に關する識見を養成するの目的に外ならざるなり。識見は如何して養成すべきか、かの自然の活世界に思を鍊らずして、首を書卷の裏に鳩むるものは、たとひ學殖富贖を極むるに至るとも遂に學問としてはその一部を待たるに過ぎず、讀書は必しも美事に非ず。博識は必しも光輝に非ず、所謂彼に學者なり、彼は物知りなりとの言は、必しもつねに尊敬の意義を含まざることは、學を爲す者の刻々反省すべきところにあらずや。讀書そのもの決して學問にあらず。學問は自然の活世界に於て成し遂ぐべきものにして、活世界に於て陶冶洗鍊せる識見を以て書籍に對して始めてよく讀書の功果を收むることを得べし。吾等の精神若しこれを活世界に應かずして、書籍に對せば恐らくは盡く書を信ずるの愚或は誤つてこれを捨つるの弊に陥ることあるべし。かつそれ吾人の言語文章は猶ほ未だ不完全にして、充分に人間の思想を表現するに足らず、數學上の原則と雖もこれを讀みて他に應用せんとするに當りて、果してその眞意を默會し得たりや否やに就きては、更らに三考を要することあり。目のあたり辯論討究すとも、猶ほ互に意義を誤解することも往々にしてあり。况んや未だ相見ざるの人、既に過ぎ去りたる人の書卷に對して、そのうちより思想を吸收せんとするは、萬間然することなき方法なりと言ふを得ざるべし。讀書が學問に於ける位置及びその價值はかくの如く、比較的少なきものなり。斯學を爲す者、讀者の價值を過大に信ずることなく、須らく活世界に經驗して、明らかなる知見を磨ぐべきなり。されば教育史を修めん者は、活ける教育を實驗し、觀察して理法を會得し、識見を養成し、以て過去の教育の變遷發達の眞義を究めんことを専一とすべきなり。則ち體察を以て學問第一義となす。

(次頁に続く)

さは云へ書籍のうちには、^⑨數多の思想を含蓄し、吾人は書籍によりて識見を養成することなし得べし。而して吾人は限りある力と時とを以て萬種の味験^⑩を親し、數多の人の思想に接することは得て期す可らず。此に於てか書籍に臨みて、他の思想を知り吾が知見を磨ぐの必要生ず。古來哲人讀書を以て心地開發の要方となし、さらにこれを以て人生の樂事となせる理由こゝにありて存す。然るに讀書をして、かく計り多大の任務を成就せしめんには唯一の要件あり。他にわらず識見これなり。かの燃岸といひ、紙背に透るといふもこの事のみ、詳かに言へば書籍に對して明確なる判斷力を適用するにあり。かくの如くにして萬卷を讀破するに至らばその造詣や測る可らざるものあらん。教育史を専攻するの士に於ては採集研究すべき資料の極めて多きは言ふを俟たず。これに處して一條明確なる判斷力を欠くことあらんには、決して造詣の美を望む可らず。况んや身、教育に當らんことを期する者に於て、教育史を修むるにありて、なほ且つその志操の高邁を要するやさらに切なり。識見とは、實に高尙なる志操と明確なる判斷力とに、外ならざるなり。

古へ史を修むる者は三長あるを要すと言へり。才。學。識これなり。才は運用なり學は材料なり識は判斷なり。而して三者の中、識を最も重しとなす。教育史に於ても、また固より然るなり。然るに史を修むるには、なほこの外に一の要件あり。記^⑪憶これなり古へ三長を言へりし者は才の中に記憶をも含蓄せしめしなるべきが、自ら同一に見る可らざるものあれば、こゝに標出すといふ。

吉田松陰の著書は、^⑫に於ては、書籍よりも活世界に精神を鍛鍊すべきことを説き、書籍に對しては明確なる判斷力を唯一の要件となすことを説きて頗る的確なり。氏の文章は、また含蓄深くして諷誦して益あり。讀者就きて看んことを望む。

吉田松陰講孟劄記の首に、いはく、經書を読むの第一義は聖賢に阿ねらぬことと要なり。若し少しにても阿る所あれば道明ならず、學ぶとも益なくして害わりと謂へるは、學問第一義識にあることをいへるなり。

教育史を修むるに先だち、普通歴史及び教育學一斑を講究すべきは固よりのことなるが、なほこゝに一言を要することあり。

從來師範學校に於ては、第一學年に於て、未だ、教育學及び普通歴史を授けざるに先だち、教育史を逸早く授けしことは、吾人の贊成する能はざるところにして、余は三十二年五月師範學校の教育史教程に就きて論じて、教育公論

(次頁に続く)

に登載せしことあり。この後發布さるべき師範學校教科細目には、三年及び四年級に於て、既に教育學及び普通歴史を授けたる後に教育史を講ずることゝなれるは妥當の事なるべし。

教育學を講ずる者は、心理學一斑を併せ講ずべく、普通歴史を修めん者は、なほ史學研究、法一斑を併せ知らんことを要す。この諸學科は第一の要素なるが、これに次ぎて修むべきものは、社會學及び經濟學なりとす。社會學に於て、社會の組織及びその變遷の理法の一斑を知ること頗る有要のことなるが、經濟學はまた國家教育と密接の關係あり。讀者は現に市町村の支出に於ける教育費の割合を知れるなるべし。教育の振否が地方經濟の狀況と伴ふも充分に知れるなるべし。兒童就學の比例も地方の經濟狀況に左右せられ、眞教師の招聘器械の整頓皆これ市町村財政の如何によるに非ずや。近くは明治年間文部省經費の増減就學兒童百分比比例數の變遷統計表によりて照見せば、主として國家經濟の狀況に伴ふものにおらざるなきを知るべし。教育は人生極めて重要な事件なり。然れともうの施設は社會一般の狀況に伴はざる可らず。古往今來、教育と經濟との關係一も異なることなし。教育史を修めん者須らくこの一雙の眼を以て、その變遷の眞義を攻究せんことを要す。ことに本邦幕末以後の事に至りては、事局世界の形勢と關係して、則ち外交上の必要よりして教育に影響すること頗る重大なるものありて存す。讀者唯だ教育制度の發達事件の興亡推移の跡のみを見て、教育の歴史を窺ひ得たりとなし、内外の形勢經濟の狀況等に深く省察するところ無くんば、恐らくは皮相の謬見に陥らざるを得ざるべし。これに次ぎて餘力わらは、政治學及び帝國憲法の一斑を修め以て國家組織の眞義を知得せんことを期すべきなり。終りに臨みて更らに警告すべきことは、教育を修めむ者は、刻々眼前教育の狀況に注意するのみならず、或は老練なる教育家に面接してその實談を聞き、或は各種の學校を視察し及び社會教育かの孤兒院、養育院、感化院、又はまた出獄人保護會及び學校等の如きものをも時を得ば參觀して、見聞を豊富にし、教育の思想をして深切ならしめんことを力むべきなり。

資料出典：横山達三『日本教育史』（早稲田大学出版部、刊年不詳）1-7頁。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

③教育方法学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

③教育方法学

次の3問に解答しなさい。

I. 教育におけるデータ利活用の意義と課題について論じなさい。(30点)

II. 指導と学習の改善に資する評価のあり方について論じなさい。(30点)

III. 次の用語について説明しなさい。(40点)

- (1) タイラー原理
- (2) ダルトン・プラン
- (3) 比較可能性 (comparability)
- (4) 教育実践記録

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

④発達科学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

④発達科学

I. 次の用語について説明しなさい（60点）。

- (1) 報酬系 (reward system)
- (2) DSM-5
- (3) 原始反射 (primitive reflexes)
- (4) エリクソンの心理社会的発達段階
(Erikson's psychosocial development stages)
- (5) 期待違反法 (violation-of-expectation method)
- (6) 視床下部 (hypothalamus)

II. あなたが自己制御 (self-regulation) の発達に関する研究を行うとする。以下の問いに答えなさい（40点）。

- (1) 研究目的について記述しなさい。その上で、仮説およびその仮説を導き出した根拠を述べなさい。
- (2) (1)で挙げた仮説を検証するための方法を具体的に記述しなさい。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑤教育人間学・臨床教育学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑤教育人間学・臨床教育学

次の2問に解答しなさい。

(解答は日本語、英語いずれも可とする。)

(それぞれ50点)

- I. 今日世界で生じている様々な出来事の中から人間の生き方が問われる具体的な事例を取り上げ、その解決に向けて臨床教育学・教育人間学がいかなる貢献をできるか論ぜよ。
- II. 人文学と科学の関係性を含めた臨床教育学・教育人間学の学際的な性質を説明し、それが教育や研究においてもつ意義や可能性について具体例を挙げて論ぜよ。

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑥教育認知心理学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑥教育認知心理学

3つの問題 (I, II, III) のすべてに解答すること。特に指示がある場合を除いて、日本語または英語のいずれの言語によって解答してもよい。

I. 心理学においてこれまでに提唱されてきた理論や仮説の中で、ある研究トピックを異なるもしくは対立する観点からとらえることのできるペアを1つ取り上げて、以下の問いに答えなさい。(計40点)

(例: 「カテゴリー説」と「次元説」、「中枢起源説」と「末梢起源説」など)

(1) 取り上げた理論もしくは仮説のペアのそれぞれについて説明しなさい。(10点)

(2) 2つの理論や仮説の関係性について、これまでにどのような研究によってそれらが明らかになってきたか、以下の観点ごとにそれぞれ記述しなさい。(20点)

- (ア) 「目的」
- (イ) 「方法」
- (ウ) 「統計手法」
- (エ) 「結果」
- (オ) 「考察」

(3) (1)で取り上げた理論や仮説のペアに着眼して研究することの意義を、心理学以外の近接分野との関連、あるいは応用可能性のいずれからの観点から考察しなさい。(10点)

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

II. 以下の英文を読んで、次の問題に答えなさい。(各10点, 計30点)

- (1) 下線①にある「selection and socialization effects (選択効果と社会化効果)」について、この文章ではこれらはそれぞれどのような効果として説明されているか、文章内から読み取れることを説明しなさい。
- (2) 下線②にある Salmela-Aro et al. (2000) の研究が示した結果を簡潔にまとめ、また、その結果から考察できることを自分なりに記述しなさい。
- (3) 人間のパーソナリティ特性や人生における目標の変化で生じる「選択効果と社会化効果」をそれぞれ分離して検討できる研究デザインとして、どのようなことが考えられるか、この文章では取り上げられていない例も含めながら、説明しなさい。

なお、英文は、このページを含め、3 ページにわたって印刷されているので注意すること。

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Wehner,C.,Scheppingen,M.A.van,&Bleidorn,W.(2022).Stability and change in major life goals during the transition to parenthood.European Journal of Personality,36(1),61-71.の62頁右段下から15行目から63頁右段上から13行目までを引用した。

なお、下線①の「selection and socialization effects」は、62頁目下から25-26行目、下線②の「Salmela-Aro et al. (2000)」は、63頁目下から5行目までの文を指す。

III. 心理学で用いられる次の用語について、その意味を簡潔に説明しなさい。
(各3点, 計30点)

- (1) chi-square test
- (2) ill-defined problem
- (3) mirror neuron system
- (4) modularity of mind
- (5) mood congruency effect
- (6) 集団思考
- (7) 心拍変動性
- (8) 単純主効果
- (9) 文化的自己観
- (10) 両眼視

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑦臨床心理学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑦臨床心理学

- I. 次の文章は、セラピスト（面接者）が面接でクライアントを「深く理解する」ことについて述べたものです。この文章を読み、以下の問いに答えなさい。なお、それぞれの解答の最初に、(1) (2) の番号を記入すること。

(30点：各15点)

- (1) セラピスト（面接者）が本人に「わからない」点を伝えるのは、なぜ難しいのでしょうか。筆者の主張をまとめた上で、それ以外の理由について、あなたの考えを述べなさい。
- (2) 実際の面接場面において、セラピスト（面接者）は「わからない」ことをどのように本人に伝えたらよいのでしょうか。そこでの配慮や工夫を自分なりに考え、具体的に記述しなさい。

【問題文】

(問題文略—問題用紙 3 頁目の後掲<注意>を参照のこと)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、土居健郎『新訂 方法としての面接：臨床家のために』医学書院、1992年の文章を一部変更して引用した。

II. 心理検査を含む心理アセスメント、および心理療法において、「記憶」がどのように現れるか、またどのように理解されているのか、あなたの知るところを述べなさい。なお、それぞれの解答の最初に、(1) (2) の番号を記入すること。

(30点：各15点)

- (1) 心理アセスメント (心理検査を含む)
- (2) 心理療法

III. 次の用語・人名について、臨床心理学の観点から説明しなさい。
なお、それぞれの解答の最初に、(1)～(10)の番号を記入すること。

(40点：各4点)

- (1) HTP
- (2) 成瀬悟策
- (3) compensation
- (4) 境界知能
- (5) フォーカシング
- (6) training analysis
- (7) ディスチミア親和型うつ病
- (8) 世界技法
- (9) Balint, M.
- (10) acting out

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑧教育社会学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑧教育社会学

以下の4問(I、II、III、IV)から2問(※ I、IIという組み合わせか、III、IVという組み合わせか、どちらかの組み合わせにすること)を選択し、答えなさい。なお、選択した問題番号を解答欄に記すこと。

I. 「通過儀礼」というテーマを社会学的観点から研究する場合、どのように研究を行っていくか、具体的に述べなさい。その際、(1)関連する先行研究、(2)仮説、(3)研究方法、(4)研究計画、(5)予想される研究成果等について、なるべく詳しく具体的に記すこと。(60点)

II. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① フランクフルト学派
- ② 価値自由(ウェーバー)
- ③ 強制的異性愛(リッチ)
- ④ コミュニケーション的行為(ハーバーマス)
- ⑤ シビック・ナショナリズム/エスニック・ナショナリズム
- ⑥ 鶴見俊輔

Ⅲ. 次にあげる2つのテーマのうち、1つのテーマを社会学的観点から研究する場合、どのように研究を行っていくか、具体的に述べなさい。その際、(1)関連する先行研究、(2)仮説、(3)研究方法、(4)研究計画、(5)予想される研究成果等について、なるべく詳しく具体的に記すこと。なお、選択したテーマについて、番号を記すこと。(60点)

- ① 「コミュニケーション能力」
- ② 少子化

Ⅳ. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① 教師の燃え尽き
- ② 感情労働
- ③ 層化抽出法
- ④ ヤングケアラー
- ⑤ J. ドンズロ
- ⑥ 日本の教育におけるトラッキング

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑨図書館情報学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑨ 図書館情報学

- I. 他分野の研究動向または学際的な発想が図書館研究にどのような変化をもたらしたのか、あるいは、もたらし得るのかということについて、具体的な研究領域を例に挙げて論じなさい。(30点)
- II. 「図書館の中立性」とは、どのようなことを指すのか説明しなさい。(25点)
- III. 次の①から⑤のうちから3つを選び、それぞれについて、概要や特徴を説明した上で、図書館界に対して有した意味を論じなさい。
(各15点、合計45点)
- ① 学校司書
 - ② 読書指導
 - ③ 附帯施設論争
 - ④ Public Lending Right
 - ⑤ “The Librarian as a Censor” (Bostwick, A. E., 1908)

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑪比較教育学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑪比較教育学

I. 多くの国で生涯学習社会の構築が目指され、成人の学習参加に向けて様々な施策が講じられている。しかし実際には、各国において成人の学習への参加状況は一律ではなく、社会経済的な属性によって参加の様相は異なっている。次頁に挙げる図はいくつかの国における成人学習参加状況を社会経済的特徴別に表したものである。図にある国のなかから異なる傾向のある国を2つ以上選び、そのような違いが生じる要因を比較的に検討する研究計画を作成しなさい。

(40点)

【資料】

(資料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、経済協力開発機構（OECD）編著、立田慶裕監訳、長岡智寿子他訳『世界の生涯学習成人学習の促進に向けて』明石書店、2010年の28頁「図1.1 社会経済的特徴による成人学習の参加 2002年」を一部省略して引用した。

II. 諸外国・地域のなかから1つを選び、「教育の中立性」がどのように考えられ、それが制度としてどのように具体化されているのかについて論じなさい。(30点)

III. 次の用語のなかから3つを選んで説明しなさい。(30点)

- ① ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR)
- ② アーティキュレーション
- ③ 『危機に立つ国家 (*A Nation at Risk*) 』
- ④ マドラサ
- ⑤ 持続可能な開発のための教育 (ESD)

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑫教育政策学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑫教育政策学

I. 下記の資料は「新たな教育振興基本計画【概要】（令和5年度～9年度）」の抜粋である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

- (1) 「今後の教育政策に関する基本的な方針」に掲げられた項目からひとつ選択し、具体的な政策をとりあげて期待される効果や課題について論じなさい。（20点）
- (2) (1) で示した課題に関する問い（仮説）を立て、実証に向けた研究計画を作成しなさい。（20点）

【資料】

（資料略—後掲〈注意〉を参照のこと）

〈注意〉

資料は、『新たな教育振興基本計画【概要】（令和5年度～9年度）』

教育振興基本計画（概要）（mext.go.jp）1頁 今後の教育政策に関する基本的な方針の①から⑤の資料を引用した。

【資料】

(資料略一問題用紙1頁目の後掲<注意>を参照のこと)

II. 教育における合意形成の仕組みについて、1または複数の具体的政策（国内外を問わない）をあげて、その特徴ならびに課題について論じなさい。（30点）

III. 次の用語の中から3つを選んで説明しなさい。（30点）

- ① 教員採用選考試験
- ② 特定免許状失効者等データベース
- ③ 教職調整額
- ④ 合理的配慮
- ⑤ 準則主義
- ⑥ 教育委員会法

2024年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑮ 高等教育学

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑮ 高等教育学

以下の問いに解答しなさい。解答は、日本語でも英語でもよい。

I. 生成 AI は大学教育に大きな影響を及ぼす可能性があるとして指摘されている。今後の大学教育における生成 AI の利用の可能性と課題について、教員の視点、学生の視点の両面から論じなさい。(55 点)

ただし、以下の 5 つのキーワードを全て用い、用いたキーワードには下線を引くこと。

- ・ 学修活動 (learning activities)
- ・ 成績評価 (learning assessment and grading)
- ・ 生成物の内容の正確さ (accuracy of generated content)
- ・ 個人情報 (personal information)
- ・ 著作権 (copyright)

II. 次の用語を説明しなさい。(各15点)

- ① マイクロクレデンシャル
- ② 大学教員の役割分化
- ③ リベラルアーツ教育